

ROUTE 4

遺跡コース

なかまちテラスを通過して、お寺や神社に寄りながら鈴木遺跡の周りをめぐっていくコースです。途中、小川用水や鈴木用水、田無用水などを通り、ブルーベリーの栽培発祥の地へ歩いていきます。

WALKING ROUTE

● 距離約7.7km ● 時間約1時間55分 ● 消費カロリー345kcal ● 歩数約11000歩

青梅街道駅 1.5km → 熊野宮 2.9km → 鈴木遺跡資料館 1.4km → 八小遺跡 1.3km → 島村農園 0.6km → 花小金井駅

※サルートを歩いた場合、距離約6.9km、時間約1時間44分、消費カロリー312kcal、歩数約9857歩



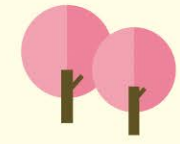
上を流れるのが鈴木用水で、下を流れるのが田無用水です。



なかまちテラスは、「人と情報の出会いの場」をコンセプトに建築された公民館と図書館の複合施設です。



約3万8千~1万6千年前の旧石器時代等を中心とする遺物が展示されている施設です。鈴木遺跡は昭和49年、鈴木小学校建設の際に発見され、令和3年3月に国史跡に指定されました。水・土・日・休祝日が開館日です。開館時間10時~16時。



鈴木遺跡を象徴する石器の形を描いたタイルが埋め込まれています。



ブルーベリー栽培発祥の農園ブルーベリーが日本で初めて農産物として栽培されたのが小平市です。市内にはブルーベリーの直売所、摘み取り農園などを扱うお店がたくさんあります。